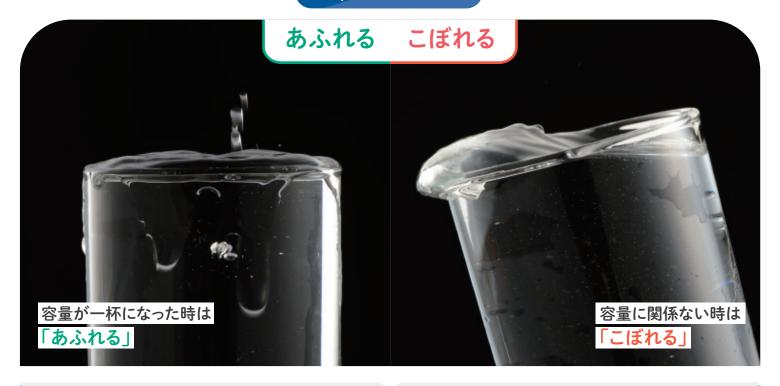


◇ 改めて知ると奥が深い /



心でいる ことばの世界

今回のテーマ



解説

何かが外に出てしまう時に使う「あふれる」と「こぼれる」を使い分けるポイントには、その容量が関係してきます。写真のように、コップの容量が一杯になった末に外に出るのが「あふれる」。一方、容量に関係なく揺れたり倒れたりして外に出るのが「こぼれる」です。涙は「あふれる」とも「こぼれる」とも表現しますが、この基準を知っていれば、感情が高ぶり気持ちが満ち

た末の涙は「あふれる」が適していると理解できるでしょう。また、入れなくなった教室から人が「あふれる」や、ボールがグローブから「こぼれる」も、この規則に則っているのがよくわかります。





出典:『似ていることば』おかべたかし/文、やまでたかし/写真(東京書籍)

